



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮崎 正太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	69,770	25.9	7,590	137.1	8,175	121.9	5,661	353.7
2026年3月期第1四半期	55,397	6.8	3,201	8.2	3,684	△3.5	1,247	△61.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 13,502百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △279百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	242.02	—
2026年3月期第1四半期	53.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	440,698	268,584	60.9
2026年3月期	423,026	261,429	61.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 268,245百万円 2026年3月期 261,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	270.00	270.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	160.00	—	36.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2026年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を実施する予定であるため、2027年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2027年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は180円となり、1株当たり年間配当金は340円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	131,500	10.1	11,000	15.8	11,500	9.2	9,100	34.6	389.03
通期	276,000	5.7	27,600	10.2	28,400	4.0	22,100	5.3	188.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。株式分割を考慮しない場合の2027年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は944円78銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	24,893,841株	2026年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,502,211株	2026年3月期	1,502,184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	23,391,649株	2026年3月期1Q	23,388,348株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高697億70百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益75億90百万円(前年同期比137.1%増)、経常利益81億75百万円(前年同期比121.9%増)、純利益56億61百万円(前年同期比353.7%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結受注は921億43百万円(前年同期比61.3%増)となりました。為替が円安で推移したことによる換算影響も寄与し、過去最高となりました。

中東情勢をはじめとする地政学的リスクやエネルギー価格の変動など先行き不透明な状況が継続しましたが、当社においては中国を中心としたアジア地域の設備投資需要が好調に推移したほか、日本国内向けも半導体製造装置関連向けを中心に回復傾向にあり、連結受注は前年同期を上回りました。第2四半期以降もお客様のニーズを汲み取り、変化に合わせた対応に尽力いたします。

第1四半期(2026年4月～6月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については8ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は前年同期を上回りました。半導体製造装置関連の部品加工向けのほか、航空宇宙関連を中心に受注が増加しました。第2四半期以降も引き合いの増加が期待される半導体製造装置関連を中心に受注の獲得に努めます。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアの受注は前年同期を上回りました。

中国は前年同期を上回りました。完成車メーカ各社でモデルチェンジのサイクルが短くなっていることなどを背景に、金型向け・部品加工向け共に受注が増加しました。また電子部品関連の金型向けも堅調に推移したほか、AIインフラ関連の受注が増加傾向にあります。

インドは自動車関連の部品加工向けおよび航空宇宙関連を中心に、前年同期を上回りました。

アセアンは半導体製造装置関連が中心となり、前年同期を上回りました。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカの受注は前年同期を上回りました。航空宇宙関連が好調に推移したほか、ジョブショップ向けを中心に部品加工向けも前年同期を上回り、堅調に推移しました。第2四半期以降も更なる受注獲得に向けて尽力します。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

ヨーロッパの受注は前年同期を上回りました。航空宇宙関連が堅調に推移したほか、昨年リリースした新機種「a630iT」をはじめとした5軸制御マシニングセンタの受注が、AIインフラの需要増に伴う発電関連の部品加工向けで増加しています。第2四半期以降も市場のニーズを捉え、受注獲得に努めます。

2026年5月に「企業価値向上に向けて(2026年更新)」を開示しました。

販売においては、4月に中国にてCCMT(China CNC Machine Tool Fair)へ出展したほか、9月にはアメリカにてIMTS(International Manufacturing Technology Show)へ出展を予定しています。「See What Matters」をテーマに最新の5軸制御横形マシニングセンタのほか、機械の自動運転時間を延ばすために加工物をストックするシステムを機械と組み合わせて展示予定です。また、10月には日本においてJIMTOF(日本国際工作機械見本市)へ「Promise of Performance」をテーマに、新機種を含め、需要の高まりが続いている5軸制御マシニングセンタなど全5機種を出展予定です。

生産においては、需要の増加に対応するため建設を進めていた、富士吉田工場の新棟が2026年6月に稼働を開始しました。昨今需要が増加している航空宇宙関連向けの大型機のほか、自動車関連の金型向けの大型機を中心に生

産を行っています。

第2四半期以降も事業計画に示す目標を達成すべく全社一丸となって取り組みを進めます。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、建物及び構築物（純額）236億6百万円の増加、建設仮勘定221億92百万円の減少、投資有価証券82億29百万円の増加、棚卸資産70億60百万円の増加、現金及び預金27億5百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産24億36百万円の増加、機械装置及び運搬具（純額）22億85百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ176億72百万円増加し、4,406億98百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務41億25百万円の増加、繰延税金負債24億87百万円の増加、未払法人税等8億75百万円の増加及び短期借入金3億17百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ105億17百万円増加し、1,721億13百万円となりました。

また、純資産につきましては、その他有価証券評価差額金56億78百万円の増加、為替換算調整勘定23億70百万円の増加及び利益剰余金6億54百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ71億55百万円増加し、2,685億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、前回公表値（2026年4月30日公表）を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,137	72,431
受取手形、売掛金及び契約資産	60,934	63,370
有価証券	39	41
商品及び製品	37,317	38,653
仕掛品	20,622	23,712
原材料及び貯蔵品	51,068	53,703
その他	15,406	14,025
貸倒引当金	△1,298	△1,385
流動資産合計	259,229	264,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,500	66,107
機械装置及び運搬具（純額）	10,489	12,775
工具、器具及び備品（純額）	4,425	4,581
土地	20,257	20,488
リース資産（純額）	8,720	8,656
建設仮勘定	24,410	2,217
有形固定資産合計	110,804	114,826
無形固定資産		
その他	3,569	3,580
無形固定資産合計	3,569	3,580
投資その他の資産		
投資有価証券	30,549	38,779
長期貸付金	429	422
繰延税金資産	6,696	6,807
退職給付に係る資産	7,948	7,729
その他	3,851	4,049
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	49,422	57,737
固定資産合計	163,796	176,144
資産合計	423,026	440,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,448	25,344
電子記録債務	15,861	17,091
短期借入金	16,759	17,077
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	9,000	9,000
リース債務	1,469	1,426
未払法人税等	3,339	4,215
その他	51,722	54,655
流動負債合計	130,601	138,811
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	7,000	7,000
リース債務	4,130	4,037
繰延税金負債	11,462	13,950
役員退職慰労引当金	173	177
退職給付に係る負債	843	711
その他	2,384	2,426
固定負債合計	30,995	33,301
負債合計	161,596	172,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,140	37,147
利益剰余金	156,414	155,759
自己株式	△7,163	△7,163
株主資本合計	207,534	206,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,815	23,494
為替換算調整勘定	31,272	33,643
退職給付に係る調整累計額	4,434	4,221
その他の包括利益累計額合計	53,521	61,358
非支配株主持分	372	339
純資産合計	261,429	268,584
負債純資産合計	423,026	440,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	55,397	69,770
売上原価	39,514	46,300
売上総利益	15,883	23,470
販売費及び一般管理費	12,682	15,879
営業利益	3,201	7,590
営業外収益		
受取利息及び配当金	439	456
為替差益	-	9
助成金収入	228	118
その他	321	225
営業外収益合計	989	809
営業外費用		
支払利息	128	176
為替差損	366	-
その他	10	49
営業外費用合計	505	225
経常利益	3,684	8,175
特別利益		
固定資産売却益	34	118
投資有価証券売却益	17	680
特別利益合計	52	798
特別損失		
固定資産除却損	17	15
公開買付関連費用	1,043	-
特別損失合計	1,060	15
税金等調整前四半期純利益	2,676	8,958
法人税等	1,425	3,295
四半期純利益	1,250	5,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,247	5,661

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,250	5,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	5,681
為替換算調整勘定	△1,232	2,370
退職給付に係る調整額	△56	△212
その他の包括利益合計	△1,529	7,839
四半期包括利益	△279	13,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△282	13,498
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ノルウェー、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH (ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェーを除く)のすべての国です。

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	Ⅰ (百万円)	Ⅱ (百万円)	Ⅲ (百万円)	Ⅳ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する売上高	8,607	29,078	15,290	2,421	55,397
2. セグメント間の内部売上高又は振替高	16,475	2,521	86	9	19,093
計	25,083	31,599	15,376	2,431	74,491
セグメント利益又は損失(△)	544	1,536	554	△623	2,011

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,011
未実現利益の消去他	1,189
四半期連結損益計算書の営業利益	3,201

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	8,491	33,326	23,879	4,072	69,770
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,944	3,861	270	3	27,081
計	31,436	37,188	24,150	4,076	96,851
セグメント利益 又は損失(△)	3,377	3,580	1,333	△522	7,769

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	7,769
未実現利益の消去他	△178
四半期連結損益計算書の営業利益	7,590

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,930百万円	2,276百万円

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 自 2026年4月1日 至 2026年6月30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	14,228	15.4	+22.4
II	43,385	47.1	+49.7
III	26,035	28.3	+98.0
IV	8,493	9.2	+150.2
合計	92,143	100.0	+61.3

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間末 2026年6月30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	27,672	20.9	+26.0
II	39,432	29.7	+18.8
III	46,816	35.3	+20.5
IV	18,690	14.1	+103.8
合計	132,611	100.0	+28.5

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 自 2026年4月1日 至 2026年6月30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	8,491	12.2	△1.3
II	33,326	47.8	+14.6
III	23,879	34.2	+56.2
IV	4,072	5.8	+68.2
合計	69,770	100.0	+25.9